

平成22年度日本農芸化学会 藪田セミナー ウコギシンポジウム 「山形県米沢市からの発信」

内容:

ウコギ(ヒメウコギ)は、直江兼続が米沢の街づくりに使い、その後米沢藩第九代藩主上杉鷹山が食用と防犯を兼ねた垣根として植栽を奨励したウコギ科の落葉低木である。現在の米沢市のウコギ垣は総延長20 km以上あり、一種類の生垣としては全国で最も長く質・量ともに日本一であり、今でも市民の日常生活に溶け込んでいる。このような地域伝統作物ウコギの活用を目指して、産学官連携による取り組みが進められた。その結果、ウコギ葉は機能性成分(ポリフェノール類、ビタミン類、ミネラル、食物繊維)を多く含み、種々の生理作用を持つことを明らかにし、また、「ウコギ茶」等の商品が開発・販売され、最近では、サプリメントが市販されるに至っている。以上のようにウコギは、消費者にとって魅力的な機能性成分を多く含有しているとともに、文化的・歴史的ストーリー性をも有した高い商品性の潜在力を秘めた素材であるため、多くの皆様へこのシンポジウムを通じて紹介したい。

参加費:無料、ただし交流会参加費は有料(3,000円を予定)

プログラム:

13:30 開会

13:35 講演(1) 米沢産ヒメウコギの歴史
(山形大学大学院理工学研究科 教授) 尾形 健明

14:15 講演(2) ウコギの機能性成分
(山形大学大学院理工学研究科 准教授) 野田 博行

15:00 講演(3) ウコギの効能
(山形県立米沢女子短期大学 名誉教授) 山田 則子

15:40 講演(4) ウコギの実用化
(山形大学大学院客員教授・三重大学大学院
生物資源学研究科 教授) 幹 渉

16:30 ポスターによる研究紹介・ウコギ商品展示

17:30 閉会

交流会:シンポジウム終了後1時間程度(会費3,000円を予定)



連絡先:山形大学大学院理工学研究科 尾形 健明(実行委員会代表)
ogata@yz.yamagata-u.ac.jp、Tel/Fax: 0238-26-3135

おおよそご参加人数を把握いたしたく、参加希望者は交流会参加の有無も含め、連絡先へメールをお送りくださるよう、お願いいたします。

主催:ウコギシンポジウム実行委員会

共催:日本農芸化学会、山形大学

日時:平成22年10月29日(金) 13:30 - 17:30

場所:キャンパス・イノベーションセンター

(<http://www.cictokyo.jp/> 山手線JR「田町駅」芝浦口すぐ)